

研究課題名「個別フィードバックを用いた手指衛生遵守率向上への取り組み」に関する情報公開

1. 研究の対象

2018年4月1日～2019年3月31日に名古屋大学医学部附属病院 9E 病棟に勤務していた看護職者 23 名。手荒れにより擦式アルコール製剤を使用できない看護職者は対象外とした。

2. 研究目的・方法・研究期間

- 1) 研究目的：本研究は、手指消毒薬使用量の個別フィードバックが、看護職者の手指衛生遵守率に与える効果について検討することを目的とする。
- 2) 研究方法
 - (1) 研究デザイン：観察研究（後ろ向きコホート）
 - (2) フィードバック方法：フィードバックには 2018 年 4 月～11 月までの擦式アルコール製剤使用量（各月）と 1 日平均使用量を算出しグラフで示したフィードバック用紙を作成した（資料 1）。これを用いて 1 人あたり 1 分程度のフィードバックを行った。内容としては、4 月～11 月までの擦式アルコール製剤使用量の推移を説明し、対象者に今後の使用目標値を記載してもらった。フィードバックの回数は 12 月～2 月まで、各月 1 回で合計 3 回とした。また、フィードバック時の配慮として、結果に対する負の要因を伝えるのではなく、できていることを賞賛し返却した。さらに、今回の研究は個別フィードバックによる効果を測定するものであり、個々の勤務評価とは関係がないことを説明した。併せて、手指衛生は適切なタイミングで「手洗い」と「手指消毒」を使い分けることが重要である。本研究は手指消毒薬の結果を返却するもので、手指衛生が手指消毒に偏る可能性が考えられた。そのため、本研究を行うにあたり部署の看護職者を対象に、手洗いと手指消毒の使い分け、手指衛生の適切なタイミングについての勉強会を行った。
 - (3) データ収集方法：9E 病棟では 1 日の擦式アルコール製剤使用量を看護職者が個々に算出し積算して記載していく方法をとっている。そこで得られたデータを用いて擦式アルコール製剤使用量と 1 日平均使用量を算出する。また、WHO の 5 つのタイミングに基づいた直接観察法・1 患者あたりの手指消毒使用回数（回/患者・日）は、ICT による他者評価の結果を用いる。

(4) データ分析方法：本研究では、2018年4～6月をコントロール群、2018年7～11月を組織フィードバック群、2018年12～2019年3月を個別フィードバック群として、1日あたりの手指消毒薬使用量と直接観察法（WHOの5つのタイミングに基づいた方法）、1患者あたりの手指消毒薬使用量に基づいた手指衛生遵守率を比較することで、個別フィードバックの効果を検討する。手指消毒薬使用量の差については、Friedman検定を用いて群間比較を行った後、有意であった場合にはWilcoxon符号付順位検定にて多重比較を行う。統計処理は統計解析ソフトSPSS Statisticsを使用し有意水準は $P < 0.05$ とする。

3) 研究期間：実施承認日～2022年03月31日

(調査期間：2018年4月1日～2019年3月31日)

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：名古屋大学医学部附属病院 9E病棟における手指消毒薬使用量

ICTの直接観察法による9E病棟の手指衛生遵守率のデータ

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 看護部（外来）

看護師・越取雄策

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65

直通電話番号：052-744-2993

FAX 番号：052-744-1947

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院 看護部（外来）・看護師長・上谷いづ実